

令和6年勝浦町マラソン議会（若あゆ会議）会議録第1日目

1 招集年月日 令和6年7月10日

1 招集場所 勝浦町役場議場

1 開閉日時及び宣告

開 議 7月10日 午前9時30分 議 長 松 田 貴 志
散 会 7月10日 午前11時28分 議 長 松 田 貴 志

1 出席及び欠席議員

○出席議員（10名）

1番	内 谷 安 宏	2番	福 井 裕 美
3番	長 尾 隆 資	4番	玉 置 守
5番	花 房 勝 一	6番	瀬 戸 直 一
7番	美 馬 友 子	8番	松 田 貴 志
9番	篠 公 一	10番	井 出 美智子

○欠席議員（0名）

1 会議録署名議員

4番 玉 置 守 6番 瀬 戸 直 一

1 地方自治法第121条第1項により説明のために出席した者の職及び氏名

町 長	野 上 武 典	副 町 長	山 田 徹
教 育 長	市 川 公 雄	政 策 監	佐 藤 健 司
総務防災課長	中 瀬 弘 晴	企画交流課長	寺 尾 由 美
税 务 課 長	藤 井 小百合	住 民 課 長	後 藤 信 之
福 祉 課 長	長 友 清 美	農 業 振 興 課 長	上 村 和 也
建 設 課 長	海 川 好 史	上 下 水 道 課 長	大 上 誉 司
会 計 管 理 者	正 瑞 美佳子	教 育 委 員 会 事 務 局 長	石 木 正 昭
勝浦病院事務局長	笠 木 義 弘		

1 職務のため出席した者の職氏名

事 務 局 長 松 本 博 文

1 議事日程（第1号）

開議宣言

日程第1 諸般の報告

日程第2 会議録署名議員の指名

日程第3 議会運営委員会所管事務調査報告

日程第4 議案第2号 令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）について

て

日程第5 議案第1号 徳島県市町村総合事務組合規約の変更について

日程第6 議案第3号 令和6年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）について

1 本日の会議に付した事件

日程第1から日程第6まで（第1号）

1 会議の経過

別紙のとおり

~~~~~

午前9時30分 開会

○議長（松田貴志君） おはようございます。

ただいまから令和6年勝浦町マラソン議会若あゆ会議を開きます。

本日の議事日程は、お手元へ配付のとおりでございます。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 日程第1，諸般の報告を議題とします。

各種会議等への出席状況は、お手元に配付の報告書のとおりです。

次に、法第121条第1項の規定により、説明者として出席を求めたのは野上町長のほか、お手元に配付の出席要求書のとおりです。

以上で諸般の報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第2，会議録署名議員の指名を議題とします。

会議録署名議員は、会議規則第128条の規定により、議長において指名いたします。

令和6年勝浦町マラソン議会若あゆ会議における会議録署名議員は、4番玉置議員、6番瀬戸議員の両名を指名いたします。

~~~~~

○議長（松田貴志君） 次に、日程第3，議会運営委員会所管事務調査報告を議題とします。

議会運営委員会調査結果の報告を求めます。

節議会運営委員長。

○議会運営委員長（節公一君） 議会運営委員会から報告いたします。

7月2日に議会運営委員会を開催し、若あゆ会議の日程等について協議を行った結果、本日は提出議案のうち議案第2号を第三読会まで、議案第1号及び議案第3号を第一読会まで、23日、24日の2日間を一般質問、29日に議案審議といたしますので、ご協力をお願いいたします。

なお、この若あゆ会議から今会期終了日までに行われる会議における全ての第一読会において、会議規則第52条にある、議長が議員として質疑を行うときは、会議規則第53条にある自由討議と同様に議長席で行うことと決定いたしました。

以上、報告といたします。

○議長（松田貴志君）　ただいまの議会運営委員長の報告に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君）　それでは、議会運営委員会所管事務調査報告を終わります。

~~~~~

○議長（松田貴志君）　次に、日程第4、議案第2号、令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）についてを議題とします。

これより第一読会を開きます。

町長から、議案第2号について趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君）　おはようございます。

本日は、勝浦町マラソン議会若あゆ会議を開会いたしましたところ、議員各位におかれましては、何かとご多用のところご出席を賜りまして、深く感謝申し上げます。

今年の梅雨はしっかり雨が降り、勝浦川の水量も多いように見受けられますが、梅雨の合間に日が差すと尋常でない暑さが、また湿度も高く、熱中症の危険も増してきています。勝浦町では、現在のところ救急による熱中症患者の搬送は1件と聞いております。しかし、まだ梅雨が明け切らない状況で蒸し暑い日々が続くかと思われますので、町民の皆様の健康に万全の注意を払ってまいりたいと思います。

議会議員の改選から早いもので1年が経過し、昨年度は勝浦病院のグランドオープンや町道棚野八石線の開通、特定地域づくり阿波かつうらワークス協同組合の発足などの事業を進めることができました。4名の新人議員が誕生する中で、新たな体制において大きな混乱もなく、議会と執行部が連携、協調し、町政運営ができていると思っています。今後もご意見を伺いながら必要な議論を尽くし、勝浦町政を進めてまいりますので、ご指導、ご鞭撻をお願い申し上げます。

それでは、本会議に上程いたしております議案につきまして説明申し上げます。

なお、災害復旧事業に関連して第2号議案を先議していただけるようお取り計らいいただきましたことに感謝申し上げます。

議案第2号は、令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）についてであります。

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5,210万3,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を42億3,707万5,000円とするものであります。

詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、ご決議賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。よろしくお願いします。

○議長（松田貴志君） 町長の説明が終了しました。

続いて、関係各課長から詳細説明を求めます。

まず、議案第2号の全体説明と総務防災課関係について。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 改めましておはようございます。

議案第2号、令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）についてであります。

第1表歳入歳出予算補正でございます。

歳入14款国庫支出金、2項国庫補助金、補正額392万6,000円、19款繰越金、1項繰越金、補正額3,791万円、20款諸収入、3項雑入、補正額1,026万7,000円、歳入合計補正額5,210万3,000円でございます。

続きまして、歳出の部でございます。

2款総務費、1項総務管理費、補正額86万3,000円、4款衛生費、1項保健衛生費、補正額1,410万3,000円、8款消防費、1項消防費、補正額79万1,000円、9款教育費、4項社会教育費、補正額250万円、10款災害復旧費、1項公共土木施設災害復旧費、補正額1,430万円、同じく災害復旧費、2項農林水産施設災害復旧費、補正額471万円、12款予備費、1項予備費1,483万6,000円、歳出合計補正額5,210万3,000円でございます。

歳入歳出補正後の額といたしまして、42億3,707万5,000円とさせていただいております。

続きまして、総務防災課、補正の詳細説明をさせていただきます。

2款総務費、1項総務管理費、1目総務管理費でございます。

こちらのほうは、人給システムの改修、児童手当が本年10月以降、所得制限の撤廃、支給年齢の拡大、制度の拡充が実施されることに伴い、補正をさせていただくものでございます。システム改修費86万3,000円でございます。

改正内容といたしましては、所得制限の撤廃、対象年齢を15歳から18歳の年度末までに延長、第3子以降カウント対象年齢を拡大し、支給額を1万5,000円から3万円への増額。4点目、支給回数を年3回から年6回への隔月支給に変更するものでございます。こちらのほうは、令和6年度子ども・子育て支援事業費補助金を充当させていただいております。

続きまして、8款消防費、1項消防費、1目非常備消防費、救急活動の強化を図るためのものでございます。

こちらのほうは、救急資機材リース事業とさせていただいております。リース額79万1,000円でございます。内訳といたしましては、半自動除細動器リース料7か月分、9月から3月まで47万7,400円、自動心臓マッサージシステムリース料、こちらのほうも7か月で31万3,390円、合計79万790円、予算といたしましては79万1,000円とさせていただいております。

現在、半自動除細動器につきましては、通常動作作動時におきまして誘導の切替え等が困難になっている事例が発生をしております。どちらのほうが生産終了、型番で部品がなく修理不可ということで、耐用期間を過ぎているものでございます。自動心臓マッサージシステムにつきましても動作不良があり、現在は代替機により運用をさせていただいております。こちらのほうも耐用期間が過ぎており、生産終了をしており、修理が不可ということで今回補正をお願いするものでございます。

総務防災課からは以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第2号の福祉課関係について。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） おはようございます。

令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）について福祉課の詳細説明をさせていただきます。

歳出、4款1項1目保健衛生費の定期コロナワクチン接種事業でございます。

目的は、インフルエンザとコロナウイルスの同時流行に備え、コロナワクチン接種の体制を構築するものでございます。接種対象者は、65歳以上の方または60歳から64歳の方で心臓や腎臓等に重い障害がある方が対象となります。接種者数は、令和5年度の接種率を参考に算定し、1,237人と見込んでおります。事業費は、予防接種等

委託料が1,397万8,100円、手数料が1万3,500円、印刷製本費が10万9,725円で、合計1,410万3,000円をお願いするものでございます。スケジュールとしましては、9月上旬に周知、申込受付を行い、10月中旬から接種を開始したいと考えております。財源は、一般財源と国の助成金を充当いたします。

以上、簡単ですが、福祉課からの詳細説明を終わらせていただきます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第2号の建設課関係について。

海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） お待たせしました。

それでは、建設課の一般会計補正予算（第2号）についての詳細説明をさせていただきます。

10款1項2目公共土木施設災害復旧費でございます。

概要でございますが、本年6月18日からの豪雨により被災した公共土木施設、道路1件を復旧するため、まずは準備の予算でございます。12節委託料、測量設計委託料として880万円を、14節工事請負費として550万円をそれぞれ新たに増額補正提案するものでございます。全額が一般財源となってございます。測量設計委託料は、現地測量をし、復旧工法を決め、災害査定に向け準備する経費でございます。また、工事請負費につきましては、現道通行の安全を確保し、通行可とするための予算でございます。

災害復旧事業の工程でございますが、ご議決いただければ、速やかに仮設等の工事や測量設計を進め、今後予定されておる災害査定に向け準備を進めてまいります。被災箇所は、棚野立川線、棚野ダム下流に位置し、令和5年災害が発生した箇所のすぐ下流側でございます。被災状況、それから応急工事の状況については、管内図に示したとおりでございます。

続きまして、10款2項1目農業施設災害復旧費でございます。14節工事請負費、471万円を新たに増額補正提案するものでございます。特定財源といたしまして国庫補助金306万4,000円を充当いたします。

少しお時間をいただきて、これまでの経緯について説明をいたします。左端の括弧の中を見ていただければと思います。

昨年の台風7号の接近により被災した農業用施設を復旧する予算を昨年11月議会に

提案し、ご議決をいただいておりました。昨年、現地災害査定時に査定官からのり面構造物の安定計算をするよう指導を受けておりました。その後、工事費から予算流用し、安定計算に必要なり面の地質状況、土質特性調査業務を行い、解析の結果、土に締まりがあり、構造物の安定が確認できたものでございます。本年6月には工事費の単価期更正等の承認を得ております。このようなことから、調査解析費への流用及び工事費の単価期更正による工事費の不足額を補正し、繰越予算と合わせて復旧工事を実施するものでございます。

災害復旧工事の工程でございますが、ご議決いただければ、速やかに工事を発注し、年度内の復旧を考えております。沼江地区農道の被災箇所や被災状況、それから地質状況、地質特性調査業務の状況については管内図に示したとおりでございます。

以上が建設課関係の一般会計補正予算の詳細説明でございます。

○議長（松田貴志君） 続いて、議案第2号の教育委員会関係について。

石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） おはようございます。

教育委員会から議案第2号、令和6年度一般会計補正予算（第2号）につきまして詳細説明をさせていただきます。

教育委員会からは、今回恐竜骨格模型購入事業、1つのマネジメントシートによる補正予算をお願いするものでございます。

予算科目でございますが、9款教育費、4項社会教育費、1目社会教育総務費、17節備品購入費となります。補正額でございますが250万円で、財源は全額一般財源となります。以上の内容につきましては、今回提出しております予算書の8ページに掲載をしております。

今回の補正予算によりまして、勝浦町産イグアノドン類実物大骨格模型、勝浦町産獣脚類実物大骨格模型、勝浦町産竜脚類実物大骨格模型、勝浦町産脛骨化石から復元しました小型の獣脚類模型、以上4点の恐竜骨格模型を購入したいと考えております。

今回の補正額となります250万円につきましては、購入先と考えております相手先から提出をいただきました見積書の見積金額は256万9,424円、取りあえず1回いたしましたが、これを基本に、金額の妥当性を検討した結果の金額となっております。

議決をいただければ、速やかに物品購入契約を締結したいと考えております。

購入後でございますが、これらの4点につきましては、恐竜フェスティバル及び化石の日の講演会時の参加者や町内の小・中学生の皆様などに見学をいただくことにより、引き続きふるさと学習や勝浦町の恐竜のPR等に活用し、ふるさと教育の推進や観光客の増加による町の経済効果に結びつけていきたいと考えております。

なお、先日7月5日のくらし育み常任委員会の中でご指摘がありました竜脚類の模型の脚の件についてでございます。こちらの模型は現在、尻尾が設置されていない状態でございますが、長さが約5メートルということになっており、尻尾を含めた全体像となりますと10メートルを超えるものとなります。ちなみに、全体像となりますと脚は4本というところで確認をしております。

模型の購入後は、当面図書館2階郷土資料展示室での展示を考えておりますが、現在のこの模型が、恐竜の大きさを実感していただきながらも他の展示品の展示を踏まえた部屋の広さを考慮したものとなっております。現在の模型は実物大ではあるのですが、全体像というところから見ますとおよそ半分の大きさとなっているということで、この点につきまして説明不足であったことをおわび申し上げますとともに、現在の状態、こちらのほうに対しまして金額の妥当性につきましても検討、確認をしていくということでご報告をさせていただきます。

以上、教育委員会からの詳細説明とさせていただきます。ご審議いただき、ご決議賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

議案第2号について質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） おはようございます。

議案第2号の補正予算について質問させていただきます。

まずは、救急車機材リース事業についてでございます。

2点の機材が生産終了している型番で修理不可ということで、今までリースできれどったのか、それとどれぐらいの機械の耐用年数つちゅうんがあるんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） まず、今までの機材でございますが、こちらのほうは購入をしておったというところでございます。それから、耐用期間につきましては、半自動除細動器については6年、それから心マッサージについては8年というふうなところでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） そしたら、今回の補正で9月から3月までということなんですが、金額が高いか安いかとか僕ら分からんのですけど、これから以降はずっとリースでされていくという考え方でいいんですか。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） こちらのほうは耐用期間のリース期間となっております。半自動除細動器については6年間、それから心マッサージにつきましては8年というところでございます。こちらのほう、保証契約等を足してリースとさせていただいております。こちらのほう、機械に不具合があった場合は、消耗品をどこで対応は可能というふうなところでリースというところでございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） リース期間は、壊れても無償で直していただけるということですね。分かりました。

あと、次、教育委員会に恐竜事業について、この4点の化石模型を買われたと。これからフェスティバルや化石の見学の日に見てもらえるように使用していくということやったんですけど、これって簡単に運んでいったりとか、多分分解してやらんとあかんと思うんですけど、そこらへて大丈夫なんですか。かなり大きなものだと思いますが。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 説明図を考えてなくて忘れていました。申し訳ございません。

お手元に今共有させていただいたと思いますが、今回この4点、お手元にあると思います。一番上にありますように、この大きさですので、持ち運びはおっしゃるとおりいろいろ難しいんですけど、頭と首が着脱可能ということで、例えば学校とか授業

に持っていくときには頭と首を外して持つていいって、児童・生徒の皆さんに見ていただくと、そういうイメージになろうかと思います。この本体自体を持ち運びということになりましたらなかなかで、それはそれでまたいろいろ準備が要るかなと思うんですが、当面持ち運びということになりましたらそういったところで考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） それともう一点、今現在図書館の2階にあるということなんですけど、これはずっとここへ置いとくんですか。それとも、何かこれから先いろいろ考えられることはありますか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 当面という私は表現させてもらいましたが、この展示室からどこへっていうんは今のところ具体化した計画はありません。また、いろいろほこらも考えてみたいと思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 最後にもう一点。今現在は、ここで見たいっていう方がおれば見学は可能なんですか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 購入前ということでここに置いとう意味合いなんですけど、先方さんが、サービスということでお試しで置いてますので、見ていただくことは可能ということで回答とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 関連なんんですけど、恐竜をせっかく購入した後の展示計画っていうんは教育委員会は持ってないんですか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 当面はこの郷土資料展示室で。恐竜フェスティバルが間もなく始まりますので、まずはこちらのほうで参加者の皆さんには見学をいただくと。また、化石の日の講演会、こちらが10月ということで、この間といった

らなかなか移動とかも大変だろうと思いますので、10月ぐらいまではここで取りあえずは見学をいただくと。その間に、例えば学校との調整ができまして恐竜の学習の必要に応じて、この頭、首を持っていって、また授業のほうでも活用すると。当面はそういうところで考えております。その先というところになりましたら今後の検討かなと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） せっかく立派な模型を購入したので、行き当たりばったりのような印象が強いので、一番大きな恐竜も脚をつけて全体像を展示できるような計画を教育委員会として早急に立てるべきだとは思いませんか。いつ頃までにとかそういう相談をされたことはないんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 申し訳ないです。こういった長期的なこと、取りあえず化石の日の講演会の後の分というのはまだできておりませんが、またこちらは協議して活用が有効にできるような、そういうところは必要性を感じておりますので、計画を立てていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 私も孫がおるんですけど、男の子は特に恐竜に食いついてくるんです。大好きなので、今度の恐竜フェスティバルもぜひ連れてこようと思っています。そのときに、恐竜の模型を身近にもっと見れるようにしていただけとったらよかったです。そのとき、恐竜の模型を身近にもっと見れるようにしていただけたかったかなと思うので、今後も期待しておりますので、早急に子供たちとか町外の人がどんどん訪れてくれるような展示を考えてもらいたいと思います。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 同じく、教育委員会のほうにご質問をさせていただきます。

適正価格って言いよりましたけれども、適正価格っていうのはどういうような形で適正価格としたんですか。福井の恐竜博物館とかで同類の分をするとか、徳島県にも県立博物館がありますが、私も何回も行ってますが、あそこのものを購入したのにどのぐらいかかったっていうことでこのぐらいかかるんだよっていうところ。それか

ら、どこから購入したのかっていう業者名とか、そういうなんもお願いしたいなと思います。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） この金額の妥当性ということで、いろいろ情報収集させていただきました。ただ、私の情報収集の範囲では、例えばこここの鑑定書とかそういう機関はなかなか見いだせなかつたというところでございます。

そういう中で、恐竜の知識を持たれている方に相談させてもらったところ、この大きさぐらいの製品、今回提案させていただいている模型でございますが、売り物の製品のような状態となりますと、例えば海外では1体当たり400万円から500万円で取引されると。そういう事例も踏まえて、恐竜の知識を持たれてる方に実物を見ていただきましたけど、この程度の額ぐらいかなと。かちっとしたところは言っていただけなかつたんですが、およそこれぐらいの額では妥当なのではないかというところのお話をいただきました。

ちなみに購入相手先は、本年の2月末まで教育委員会のほうで勤務いただきました荻野参与から購入を考えております。ちなみに、荻野参与に対しましても、他の市町村、こういったところで恐竜の骨格模型を納入した実績はないかというとこをお尋ねしましたが、特にご経験はないと、ただ亀とかワニとかはあるんですが恐竜はないというところで確認は取ったところでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） やっぱり根拠的なもんが必要だと思うんですよね、公共で買うっていうようなことは。そのところの根拠を正しくして、今言いよったように、福井それから徳島県立等とも協議をしながら適正価格の決定をしていただきたい。ただ、専門家というだけでは、私は不信感が残るし、町民に対しても、250万円が支出される。当初予算でこれをするんであればいいと思うんですが、補正というようなことで、緊急性があるっていうようなことでするんであれば非常にいいなと。

荻野参事も3月までということでありましたんで、それまでは荻野参事の所有物っていうようなことでよかったです。私も図書館の2階のところで、参事が3Dプリンターでウー、ウー、ウーって作っていっておりましたが、その当時私も見せて

ただきました。暑い中、寒い中作っていつきよんを横から見よって、これは大変な仕事やなど、業務の中でやりんよんだろか個人でしょんだろか、これは知らんですけども、どういうような形で、参事が3年間ここでした、当初の職員としての在り方、一つ言ったら仕事の範囲っていうのが本当に決められていたのかなと。ただ、まいた副産物が残ったんで高く売りましょうかっていうん、高いか安いか分かりませんけど、今適正価格が分からないので私もはつきり言えませんが、そういったことも加味しながらやっていたのかなというふうに思っていますので、そういうようなところをお願いしたいと思います。

○議長（松田貴志君） 萩野「参与」で、役職名は「参与」で。

○4番（玉置 守君） すいません。参与。

○議長（松田貴志君） ほんで、「2月いっぱいまで」の着任ということで訂正しておきます。

石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 萩野参与には、令和3年6月から教育委員会の参与ということで着任をいただいたわけでございます。その着任当初でございますが、恐竜のまちおこしということでいろいろお話が出たと思います。当然、モニュメントとかそういったお話があったと思うが、萩野参与的には学術的な面から、化石とかは発見してるんですが、詳しいところですね、恐竜の。そういったところをもう少し見極めてからしたほうが、モニュメントとか模型、作成するのがよいのではないかというご意見をいただきましたとおり、そういったところもあって、こういった点、私も協議が十分できてなかったなと考えております。

そういった中で、今回こういうことになったかと言いますと、参与もいろいろ恐竜への取組を進めていく中で、今回この模型の大きな目標であります、大きさを実感していただくと、そういったものが必要かというところで、萩野参与が、自発的というか自ら進んでというところで作成したものが今回この模型となっております。

繰り返しになりますが、そういったところもありまして、私も認識ができてなくて、この模型の購入について協議が十分でなかったと。そういったところで、今回このようなタイミングになったというところで今後の業務にも反省点として生かしていきたいなと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） 大体、事後承諾つちゅうんはなかなか難しいんよ。農道についても先に申請しといて、それが調うてからでないと着工したらいかんよというようなこともありますよね。ほれと、自分宅のリフォーム関係の仕事についても先に承諾して、先に手すりつけとんはあかんでよと、承諾を受けられてから、申請がきれいに調うてから着工してくださいよっていうのが町のほうの文面にも載っとうと思うんですが、これはまさにフライングし過ぎっていうような気がするんですが、これについてはいかがですか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 今回、この4点の模型についてですが、業務としてではなく荻野参与個人で作られたというところでございます。したがいまして、フライングというあれではないかなと思っております。

すいません。先ほど答弁の中で落ちておりましたが、恐竜フェスティバルが間もなく開始しますが、今回の模型4点、この恐竜フェスティバルでぜひ皆さんに見ていただきたいと、そういったところでこのタイミングでの補正のお願いというところになったところを追加としてお答えさせていただきます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） それだったら、補正じゃなくて3月にこれをしといたらどうだったんですか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 申し訳ございません。この話合いが3月の補正並びに当初予算には間に合わなかつたというところで、この点は今後の反省とさせていただきたいなと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） それをほなけん、後から後からっていうんじやなくて先にはなって、3年おったんでしょう。その3年間の間に作られよつたでしょう。どういつ

た業務がそれかどうか分かりませんけれども、それも3Dプリンターでずっと作られていきよった。それは時間外に入っとんか、また土日でやつとったんか、休みの休日にやつとったんか、これは分かりませんけど、どういう形でするっていうのは3年間のうちに分かつとった話なんで、急にぱっと出てきたもんではないですね。災害復旧とかやつたらばっと起こっても、ほらもうしょうないなというところはありますが、これって3年間も猶予があった中でどういうふうな計画であったんかっていうのが今問われとんですよ。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 申し訳ございません。先ほど経過でしばらくはこういったものを作ることに慎重であったんですが、2年目ぐらいからできるかなというとあるんですが、業務でお願いしたものではないというところで、私もほこらが認識できてなかったというところでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 玉置議員。

○4番（玉置 守君） それはどこが責任を取るんですか。例えば、議会がこれを今回承認してなかつたらどういう形になるんですか。個人払いになるんですか。

○議長（松田貴志君） 小休いたします。

午前10時11分 休憩

午前10時20分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

玉置議員。

○4番（玉置 守君） この恐竜問題につきましては、いろいろ私も分からぬところが非常にたくさんあって、専門家ではないので分からぬとこがあって、皆さんが言うところを真摯に受け止めて了承していきたいなというふうに思っています。いろんな形で、今後における子供の指導なり、また勝浦町が恐竜の町だよっていうようなPRについても、この物体があればこれがそうだっていうのが目に分かるので、非常に集客効果もあるんじやなかろうか、これから教育効果もあるんじやなかろうかということで私もしていきたいと思いますが、先ほどもおっしゃられたように、今後の教育、これからPR、活用方法をもっとじっくり考えながらこの事業を進めて、

250万円かかったからいいんだよっていうんじゃなくて、その次のステップにつなげていけるようなことをすればいいなと思っておりますが、いかがでしょうか。

○議長（松田貴志君） 石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君） 先ほどのご説明とかぶるところがあるかと思いますが、具体的には、まず恐竜フェスティバルで展示、また10月の化石の日の講演会、そういったところで参加者の皆さんにまず見ていただくというところで考えております。また、学校との調整が必要ですので、この場ではこの日とは言えないんですが、今後町内の小・中学生の皆様などに見学あるいは頭、首の持ち運びで見ていただいての学習、そういったところはぜひ取り組んでいきたいというところで考えております。

以上のような取組、あといろいろこのほかにも取り組めることははあるのではないかと考えておりますので、そういったところを検討しまして、ふるさと教育の推進や町外から来られた方に見ていただいて、勝浦町の恐竜のPRにつなげて観光客の増加による町の経済効果に結びつけていきたいと考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 野上町長。

○町長（野上武典君） 私としては、議員がおっしゃるように、荻野参与が着任されてから、本来だったらこういったものを作っていくっていうようなところで町ももっとコミュニケーションを取って会議をして、最終的にどうするかということも詰めながらやっていくべきというふうに思います。その点は委員会でも申し上げましたが、私としてもおわびを申し上げたいというふうに思います。

今回、これを購入するに至ったのは、荻野参与が2月で任を解かれて辞めてから、化石の骨格模型について、会ったときに私への問い合わせもありました。私としたら、ぜひ勝浦町で活用していきたいので残していただきたいと。今回、購入という形で教育委員会にも指示をして、作業等を協議する中で、この250万円というのは、先ほども申し上げた専門家等の意見も聞きながら、妥当ということで今回議会に提案をさせていただくことということになりました。

今まで常任委員会でも申し上げましたが、その時々で本来なら協議をしていればここまで引っ張ってくることはなかったかなというふうには思いますが、このあたりは

ご理解を願いたいというふうに思います。経過としたら教育委員会のほうから申し上げたとおりでございますので、ご理解を願いたいというふうに思います。

以上でございます。

○議長（松田貴志君）　玉置議員。

○4番（玉置　守君）　石木局長なり、また町長のほうからご答弁いただきましてありがとうございます。今後に非常に生かされる材料だと思いますので、活用の方法をこれからも検討していただいて、今おっしゃられたように、導入効果、また教育効果というのを大いに發揮してもらえるようなものを購入したんだと胸を張って言えるような形でお願いしたいというふうに思っています。よろしくお願ひします。

○議長（松田貴志君）　福井議員。

○2番（福井裕美君）　関連して、恐竜フェスティバル、とても親子で楽しみしておりますので、うちも盛り上げにお邪魔させていただこうと思います。

1つ心配なのが、この恐竜の模型の組立ては僕しかできないんですって言ってたんですよ、荻野先生が。できる方はいらっしゃいますか。持ち運びに、頭等を全部分解して軽トラックに乗せて持っていくよったんは知ってるんですよ。僕しかできないんですって言うんですけど、できる方おいでますか。

○議長（松田貴志君）　石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君）　すいません。私も確認の上で時間をいただきましたが、実は状態としまして、頭と首が、私が確認を始めた頃には人形文化交流館におりました。今回、こうやって資料にしてますが、私が確認を始めた頃は、こうつてばらばらになったと言えばおかしいんですけど、そんな状態で、今回時間をいただいてこんな格好でまとめさせていただきましたが、この首と頭、それとドッキングとか、そこらは今の配置しております坂上協力隊員、あと恐竜の担当ということで2人でしておりますので、まず頭と首の着脱はもう大丈夫というところでございます。あと、本体のほうにつきましては、また確認をさせてもらえたたらというところでございます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君）　福井議員。

○2番（福井裕美君）　ぜひ、全体があると、とても見に来た人が喜ぶので、その辺

を練習していただいてと思います。専門家が勝浦町においてるということで、それをすごく生かしていただいて、これからも恐竜事業を頑張っていただきたいと思います。

以上です。

○議長（松田貴志君）　長尾議員。

○3番（長尾隆資君）　関連でお尋ねいたします。

この竜脚類の脚以降、尻尾の部分というんじゃない状態での250万円かなとは思っておるんですが、できるんであればまた荻野参与、ほかにも仕事を現在持たれとうと思うんで、ほの辺相談していただいて格安とかで、あと胴体、尻尾の部分、脚の部分がまだ完成するんに協力していただけるようだったらほういうお願ひもして、値段も格安にできるだけしてもらって、また予算として計上して、また審議して、ほれで竜脚類をちゃんとした形にできるようなお願ひっていうんも検討していただけたらと思いますがどうでしょうか。

○議長（松田貴志君）　石木教育委員会事務局長。

○教育委員会事務局長（石木正昭君）　この竜脚類ですが、私が冒頭の説明で説明させていただきましたが、今で大体長さ5メートル、今の実物です。尻尾を入れましたら10メートルを超えるというところで、作成者の荻野参与自身が、これ以上大きくしたら郷土展示資料室、こちらも恐竜以外にいろいろ展示物がありますので、現段階で実物の大きさを実感していただける、今のところは最小の大きさというところで、今のところ荻野参与が、あの大きさがベストだろうというところで作っております。

ただ、話がずれるようですが、ほのほかにもこういったところで勝浦町の恐竜のPRにつなげる方法は何かないかというところで、そういったアドバイスはまたいただいてはいきたいというふうには考えております。一部ずれておりますが、そういったところで答弁とさせていただきます。

以上でございます。

○議長（松田貴志君）　長尾議員。

○3番（長尾隆資君）　ほの辺、また先ほど言いました仕事を持たれてますから余分についていうたら難しいかも分からんのんですけど、全体像として見えるような、先でなっていったらいいかと思いますので、またいろいろお話を相談してみていただけ

たらと思います。

以上になります。ありがとうございました。

○議長（松田貴志君）ほかにありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君）建設課、公共土木施設災害復旧事業について質問させていただきます。

昨年の12月会議やったと思うんですけど、補正予算で立川の同じ場所の復旧工事が出とて3,600万円ほどの補正予算を組んでおった、この施工期間中であったかと思うんですけど、そちらの工事と今回の土砂崩れの関連性とかそこいらはどのようになってますか。

○議長（松田貴志君）海川建設課長。

○建設課長（海川好史君）5年災害で、すぐ上流側で崩壊箇所がございます。今回、その箇所の契約が終えておりまして、現場説明に向かうと、のり面屋さんを含めて現場で打合せを行って、日程を決めた日の前日か前々日ぐらいに多分新しい崩壊があったということで、ちょうど実は、のり面屋さんに当該場所の現場じゃなくして手前の現場と一緒に見ていただいて、意見なりもいただいたというような状況になつてますので、今現在土砂の取りのけを終えてラス張り工事の施工が終わっております、今後仮設防護柵等が整備できれば施工が可能になると見込んでおりまして、そうすれば奥の工事の着手にかかるるというふうに見込んでおります。

○議長（松田貴志君）花房議員。

○5番（花房勝一君）そしたら、昨年の補正予算の奥の工事は計画どおりやるということですか。

○建設課長（海川好史君）そうです。

○議長（松田貴志君）海川建設課長。

○建設課長（海川好史君）通行が可能になれば入れますので、奥の工事を進めいくということになります。

○議長（松田貴志君）花房議員。

○5番（花房勝一君）関連性は大丈夫なんですか、この工事自体。すぐ隣ってどちらい隣かよく分からんんですけど、工事しよる人が危ないようなことはない、全

く別の箇所という考えでいいんですか。

○議長（松田貴志君）　海川建設課長。

○建設課長（海川好史君）　新しい工事箇所とすぐ隣接ということでなくして少し距離がありますので、影響的には、あの辺り一体が非常にのり面自体が不安定な箇所であって、落石とかも今まで小規模なことっていうのは起こっておりますが、そこらについては防護柵もした中で通行も確保しながら工事は進めたいなと思っております。

ただ、のり面作業なりを続けていく中でどうしても危険な状態になったら、また通行制限ということを考えながら工事を進めていく必要はあるかも分かりませんので、そのあたりはまた住民の皆さんに迷惑をかける場合があるかも分かりません。

○5番（花房勝一君）　分かりました。

○議長（松田貴志君）　福井議員。

○2番（福井裕美君）　コロナワクチンの補正予算についてお尋ねします。

ニーズはあるのでしょうか。どんなんでしょうか。今有料になってからどんなんでしょうか、でも接種を受けてる方っておいでるんでしょうか。ニーズはあるのかという疑問があります。

○議長（松田貴志君）　長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君）　福祉課としましては、高齢者の方の重症化を防ぐために令和6年度からは自己負担が発生はいたしますが、こういう形で進めさせていただきたいと考えております。令和6年度につきましては、町からの負担ということもありますので、本人さん負担、今まで無料でできてたところが自己負担というようなところで発生はするのですが、重症化を防ぐために、ご自分の体を守るためにぜひ打っていただきたいというようなところで考えております。

○議長（松田貴志君）　福井議員。

○2番（福井裕美君）　分かりました。結構な額なので、先着何人分とかにしたらどうかなと思ったんですけども、病院のほうの資料を見たんですけども、集団接種、3日間で医者の日当が9万円、2人掛ける3日で54万円、そんだけ来るのかなという感じなんですけれども、額が額なので、先着500人とかそんな感じで、そしたらそんだけお医者さんの人件費も要らないしとかも思うんです。勝浦病院じゃなくてもよそで

も受けれるわけですよね。

高齢者の方で、1回打ってすごく調子が悪くなつたからわしはもう受けてないんじやつていう方もいるんですけども、その辺のこつこつ受けられてる方がどのくらいいるのかと、これだけの見込み数が必要であるのかどうかと疑問です。

○議長（松田貴志君）　長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君）　今回1,237人と見込んでおりますが、これは昨年最後に接種したX B B株、これを打たれた方が57%おりましたので、それを基に今の3月末の65歳以上の人口から割り出した数にはなります。実際に65歳以上が2,171名おいでますので、それから割り出して想定はしてあるので、全員が対象というふうには予算的にはしておりませんので、想定したパーセントでの予算を見積りしております。

○議長（松田貴志君）　福井議員、質問しますか。いけますか。

内谷議員。

○1番（内谷安宏君）　総務防災課の人事給与システムの改修についてなんですかとも、非常に細かい話で申し訳ないんですが、財源の内訳のところで一般財源が1,000円だけ充てられてるのは、これは何でしょうか。

○議長（松田貴志君）　中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君）　すいません。こちらのほうは、補助金等が1,000円単位でございますので、端数の関係で1,000円ついているというところです。

○議長（松田貴志君）　内谷議員。

○1番（内谷安宏君）　何百円か余りがあって、それを1,000円として計上している。

○総務防災課長（中瀬弘晴君）　そういったところです。

○1番（内谷安宏君）　理解いたしました。

○議長（松田貴志君）　美馬議員。

○7番（美馬友子君）　人事給与システムの関連なんんですけど、いいことなんですが、事業概要の真ん中の、児童手当の支給に当たり、公務員については、居住している市町村からの支給ではなく所属所からの給与において支給されるっていうのは具体的にどういうことなんでしょうか。

○議長（松田貴志君）　中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 通常児童手当につきましては、住居があるというか市町村での支給というふうになっております。ただし、公務員につきましては事業所での支給というふうになっておりますので、そういったところで、勝浦町に勤務する職員につきましては児童手当の支給が町からの支給というところになるというところでございます。

以上でございます。

○7番（美馬友子君） 今までそうだった……。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ごめんなさい。今までそうだったと思うんですけど、今年度の対象職員って何人ぐらいおいでですか、子育て中。

○議長（松田貴志君） いける。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 対象人数については持ち合わせがございませんので、後で打ち出したいと思います。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 確認なんですが、3回から6回に隔月に支給されるっていうことで、実施内容のところで、12月給与では10月と11月分の2か月分を給与からっていうことで、給与からちゃんと児童手当は出るっていうことで、給料プラス児童手当が出るっていうシステム改修をするっていうことでしょう。6回に。

○議長（松田貴志君） 中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） こちらのほう、児童手当につきましては、以前から支給月に給料と合わせて支給というところになっておりますので、今回3回から6回、給料と合わせて諸手当と一緒に支給をさせていただくというところでございます。

○7番（美馬友子君） 了解しました。続いていいですか。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 建設課にお聞きしたいんですけど、今回崩落が起こって、前回のときはまだすぐに、仮設ではないんですけど防護柵をして住民ぐらいは通れたようだったんですが、今回は全然通れないっていうことで、上勝からは出れるようにな

っておりますが、いわゆる孤立ではないんかなと思って、孤立の支援とかというんは勝浦町は特にないんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 通れるか通れんかの部分と支援の部分は分かる範囲で。

○7番（美馬友子君） 建設課でないんかも分からんけど、どんななんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 海川建設課長。

○建設課長（海川好史君） 今の現状というか、前回についても、防護柵が仕上がつてからでなかつたら危ないっていうこと也有って、仕上げた後で4トンの通行制限をさせていただいておりました。今回、6年災害で被災を受けて、土砂の取りのけからのり面の防護柵をするための安全対策工事として、ラス張りを終えて、仮設防護柵の設置ができたらまた通行できるものというふうに考えておりますので、そこについては急いで進めておるというところでございます。それから、支援の関係についてはまた。

○議長（松田貴志君） 誰か答えるんやつたら。孤立、いきますか。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 立川地区につきましては区長のほうに連絡を取らさせていただきまして、世帯数、住民課を通じて連絡をさせていただいて、物資の支給等に対応したものでございます。災害で備蓄もございますので、そういうところでお追加分の支給を住民課を通じてお送りをさせていただいたところではあります。

以上です。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） ありがとうございます。ちゃんと支援が届いとうということで安心しました。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

井出議員。

○10番（井出美智子君） くらし育み常任委員会でちゃんと聞いておくべきことだったんですけど、ワクチンを購入して余った場合って、ワクチン代高いのにワクチンの返品って可能なんですか。

○議長（松田貴志君） 言いよったやろ。

小休いたします。

午前10時44分 休憩

午前10時45分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

井出議員。

○10番（井出美智子君） ワクチンの自己負担を引き続き7,000円の自己接種で行えるようにするために国が助成するっていうふうに説明がありますが、町の負担っていうのはどの程度増えるようになるんでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今回は国が8,300円負担をしてくれて、町は残りの3,000円負担することになります。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） 3,000円負担にするので、見込み数1,085人で計算して補正予算を計上しているということでよろしいか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 国の分につきましては、一旦町のほうで病院側のほうに支払いすることになりますので、町の負担金としましては1万1,300円の見込み数が1,237人で委託料としましては1,397万8,100円を見込んでおります。

○議長（松田貴志君） 井出議員。

○10番（井出美智子君） ありがとうございました。

○議長（松田貴志君） 井出さん、いけます。井出さん、かまわん。いける。福井さん押したな。

福井議員。

○2番（福井裕美君） 今のに関連しまして、さっきの続きなんんですけど、先着限定1,000人の接種にすると267万8,100円節約できるんですよ。いかがでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今回、この定期コロナワクチン接種というのが、市町村が行う事業ということに予防接種法で、これに基づいて行っておりますので、希望する方が皆さん受けられるように、先着というのは難しいかなというふうに考えており

ます。希望する方が皆さん受けられるような予算取りというようなところで福祉課のほうは考えていきたいと考えております。

○議長（松田貴志君） 福井議員、いける。

私も1点いいですか。

今のワクチンの部分で、国から助成金が下りてくるじゃないですか。それ以外の一般財源として町費が充てられてるんですけど、実際助成金っていうのはどの数字に対してこの金額が決まってくるんですか。お願いします。

長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） この助成金は、接種者数に国からの補助金の8,300円、こちらが助成金という形になります。それ以外の手数料であったり印刷製本費であったりというところが一般財源になります。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。それで、それ以外に自己負担金、受けられる方がちょっとでも自己負担を減らすために町として出している金額が先ほどの説明の3,000円ということでおろしいんですか。

ほんで、町費として出すからには、これは私の考えなんですけど、多分福井さんも同じような思いなんかなって想像はするんですが、ある程度の住民の方に対する効果であるとか、また効果の裏返しの部分のリスクであるとか、そこらあたりのきっちとした説明っていう部分は必要なんかなと思いますし、またコロナウイルスに関しては、株がどんどんどんどん変わっていく中で、今回実施されるワクチンの有効性っていう部分もきっと開示していく必要もあるのかな。ごめんなさい、町費を出してるからなおさらそう思ってるんです、私は。国から全額支給だったらそこまでどうかなとかという部分も多少はあるんですが、そこらあたりに関して、福祉課として新たにこの自己負担が必要になってきて、また町費も出すような形になってきての以前からのワクチン接種への取組と今回の新たな仕組みの中での取組で何か違いは出てきとんですか。どんな感じで、ごめん、難しい質問になって申し訳ないけど、どうでしょうか。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今回、自己負担をいただくというようなところは徳島県で広域で決定するようなというところで聞いております。自己負担金を4,000円いた

だくというのも、県下でこういうふうな形でというようなところでいくという方向で、残りの分についてが町負担というところでございます。だけん、勝浦町が3,000円負担をするというふうな取決めをしたわけでなくて、自己負担が4,000円なので残りを町が負担というようなところで徳島県でそういうふうな形では進んでいくかと思います。

今回については、まだワクチンが決まってないというようなところがありまして、相当前までよりはちょっと高いというようなところで、国が8,300円負担をして今までぐらいのワクチンの値段で行えるようなというところで国が負担しているようなところでございます。今回、定期接種というところで市町村が行うというようなところになっておりますので、そちらのほうにつきましても、ワクチンはこれからまた決まるかと思うんですけど、いろいろな情報とかはまた皆さんにはお伝えして、引き続きこういうことが有効だというようなところはまた伝えていきたいと考えております。

○議長（松田貴志君） ありがとうございます。

ほかにありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 以上で詳細質疑を終了します。

お諮りいたします。

議案第2号を第二読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、議案第2号を第二読会に付すことに決定いたします。

議事の都合により、小休をいたします。

午前10時53分 休憩

午前11時05分 再開

○議長（松田貴志君） 再開いたします。

これより第二読会を開きます。

第二読会における議員間の自由討議を省略いたしたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。

それでは、これより総括質疑を行います。

議案第2号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） コロナワクチンの仕入れですけど節約してほしいので、本当にしつこいですけど、私も。効果もあるしリスクもあるんですけども、全員が全員接種はしていないと思うんで、そんな多めに仕入れないで、財政が厳しい厳しいと言うのであれば少しでも節約をすればと思います。先着1,000人とか、私はそれを提案いたしますが、節約になりますので。267万8,100円、1,000人になると節約できますので。予防接種を受けたからってみんなかかってるんですよ、インフルエンザを打っても、そうなんですよ。私は打ったことありません、インフルエンザとか。

○議長（松田貴志君） 福井さん、ちょっと待ってください。

小休いたします。

午前11時07分 休憩

午前11時08分 再開

○議長（松田貴志君） 再開します。

福井議員。

○2番（福井裕美君） 先着順にして私は節約してほしいと思います。それ以外はありません。

○議長（松田貴志君） 長友福祉課長。

○福祉課長（長友清美君） 今回の接種につきましては、あくまでも任意の接種ということになりますので、個人の判断によるかとは思われますが、希望する方皆さんが受けれるように予算の枠取りということでは考えていきたいと思っております。その予算の枠組みとしまして、今の1,237人ということで福祉課としては算定したような形にはなるんですが、実際ここら辺がもし少なくて予算が余るというようなところでしたら、また3月には減額補正というところで補正はさせていただくようになるかと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。いきますか。

ほかに質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

以上で総括質疑を終了いたします。

お諮りいたします。

議案第2号を第三読会に付することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（松田貴志君） 異議ありませんので、本件は第三読会に付することに決定いたします。

これより第三読会を開きます。

討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（松田貴志君） 討論なしと認めます。

これより採決を行います。

この採決は起立によって行います。

本件を原案のとおり決定することに賛成の方はご起立願います。

(賛成者起立)

○議長（松田貴志君） 賛成者多数と認めます。したがって、議案第2号、令和6年度勝浦町一般会計補正予算（第2号）については原案のとおり可決されました。

～～～～～～～～～～～～～～～～

○議長（松田貴志君） 次に、日程第5、議案第1号、徳島県市町村総合事務組合規約の変更について及び日程第6、議案第3号、令和6年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）についてを一括して議題とします。

これより第一読会を開きます。

町長から、議案第1号及び議案第3号について一括して趣旨説明を求めます。

野上町長。

○町長（野上武典君） 議案第1号は、徳島県市町村総合事務組合規約の変更についてでございます。

これは、徳島県市町村総合事務組合の規約の変更に当たり、地方自治法第286条第

1項及び第290条の規定により、町議会の議決を求めるものであります。

議案第3号は、令和6年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）についてでございます。

収益的収入及び支出の補正額につきましては、病院事業収益及び病院事業費用の予定額にそれぞれ1,473万6,000円を追加し、8億4,900万7,000円とするものであります。

詳細につきましては、それぞれ担当課長から説明をいたさせますので、ご審議いただき、ご決議賜りますようお願い申し上げ、提案理由の説明とさせていただきます。

○議長（松田貴志君） 町長の説明が終了しました。

続いて、関係各課長から説明を求めます。

議案第1号について。

中瀬総務防災課長。

○総務防災課長（中瀬弘晴君） 議案第1号、徳島県市町村総合事務組合規約の変更についてでございます。

改正理由でございます。令和6年度から国内に居住する個人に対しまして森林環境税が課税をされ、市町村が個人住民税と併せて賦課徴収することとなっております。本町の個人住民税を含めた町税等は、徳島県市町村総合事務組合徳島滞納整理機構が滞納案件を引き継ぎ、徴収を行っております。このことから、森林環境税も併せて徴収することに伴う規約の変更を行うものでございます。規約の変更に当たっては、地方自治法第286条及び第290条の規定により、関係地方公共団体の協議が必要とされております。この協議の議決を求めるものでございます。よろしくお願いをいたします。

○議長（松田貴志君） 議案第3号について。

笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 令和6年度勝浦町病院事業会計補正予算（第1号）の説明をさせていただきます。

定期コロナワクチン接種につきまして福祉課のほうから説明がありましたけれども、委託先の一つであります勝浦病院における集団接種に係る費用の補正でございます。収入は1,473万6,000円、こちらについては公衆衛生活動料として収入を見込んで

おります。支出は手当、報酬などの人件費と薬品、診療材料などの材料費を合わせて1,473万6,000円の補正でございます。

3条では、議会の議決を経なければ流用することができない経費として人件費を、4条では、棚卸資産の購入限度額として材料費の補正額をそれぞれ計上させていただいております。

マネジメントシートで説明をさせていただきます。

まず、目的ですけれども、コロナワクチンの接種希望者へ効率的に接種を行うために集団接種を予定しております。その費用について補正するものです。事業費用の概要ですけれども、集団接種を休日に効率的に行うために人員の確保を行いたいと考えております。その内訳として医師2名、看護師4名、3日間を想定しております。また、そのほかにつきましては、既存の職員で時間外勤務で対応を予定しております。

次に、新型コロナワクチンの接種のための材料費として1,100人分を想定しております。補正総額は1,473万6,000円、その財源としましては、全てが接種に伴う事業収入で、現在想定される接種料から収入を算定してございます。内訳ですけれども、予防接種の広域活動接種料、これは町などからの委託料ですけれども、1,100人分掛ける1万1,300円、これで1,243万円、同じく個人負担金として1,100人掛ける4,000円で4,400万円ですけれども、合計で1,683万円となります。接種料、接種人数ともに不確定であることから、収入予算としましては費用相当額の1,473万6,000円というふうに見積りをしております。歳出予算どおりに事業実施されると209万4,000円の収益増となる予定でございます。

なお、事業として採算ベースにつきましては500人規模と考えておりますので、集団接種の申込み状況によりましてパートの採用枠の変更や時間外勤務職員の削減等で調整をしたいと思います。それから、補足というか先ほど一部質問もありましたので、この予算を占める大きなものがコロナワクチンの材料費、薬品費になると思いますが、こちらにつきましてはお高いお薬でございますが、接種しなかった薬剤については返品可能ということでございますので、使用数のみの支出になる予定でございます。

以上でございます。よろしくお願いします。

○議長（松田貴志君） 以上で詳細説明は終了しました。

これより詳細質疑を行います。

議案第1号について質疑はありませんか。質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 1点だけ。勝浦病院の補正予算について……。

○議長（松田貴志君） ちょっと待てよ。

○5番（花房勝一君） いける。

○議長（松田貴志君） 今議案第1号やけん、申し訳ない。

議案第1号について質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 質疑なしと認めます。

それでは、議案第3号について質疑はありませんか。

花房議員。

○5番（花房勝一君） 議案第3号、勝浦病院補正予算について1点だけ。

最初に、局長が委託先の一つであるって言われたと思うんですけど、ほかにあるんですか。

○議長（松田貴志君） 笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 今回のコロナワクチン接種ですけれども、広域による接種でございます。勝浦町として委託するのは、勝浦病院だけでなしに県内のいろんなところ、町の人が他の機関で接種するのに対しても同じように補助するようになると思いますので、病院としましては、逆に勝浦町だけでなしによその方も対象になります。で、この人数で設定したというところでございます、でよろしいですか。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） この1,100人は、町外の方の接種も想定をされておる人数になっとんですか。

○議長（松田貴志君） 笠木事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 今回の人数についてですけれども、事業概要のところに若干書かせていただいてるんですけども、町外の方は実は見込んではござ

いません。ただ、可能性としてはあるというだけであって、現在町が見込んでいる数字が1,237人ですので、その9掛け弱というところで想定させていただいております。このあたりです。9掛けで1,113.3人ですので1,100人。非常に高いですので、そのぐらい。うちとしてもあまり大きな予算も必要ないかなというところでこれで見積りをしております。大きく出るようであれば再補正なんかをお願いする可能性はあります。

以上です。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） 逆に勝浦町民が外で接種されるようなこともあります。ということやね。こういうことやね。

○議長（松田貴志君） 笠木事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） あると想定できると思います。

○議長（松田貴志君） 花房議員。

○5番（花房勝一君） ちょっと整理します。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 集団接種っていうことで、3日間ってドクター、ナースがなかなか見つからないと思いますが、めどはあるんですか。

○議長（松田貴志君） 笠木事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） ナースにつきましては、昨年来、福祉課のほうと勝浦病院のほうでワクチン接種事業でパートで来ていただいた看護師さんなんかが来てくれるんじゃないかなということで想定しております。医師につきましても、昨年、一昨年とコロナワクチン接種、これも集団接種を休日に行いましたので、これを常勤の医師にお願いしましたら、本当にその時期に休みがなくなってしまうということになりますので、医師会にお願いしましてパートの医師を紹介していただきました。数人紹介していただきましたので、そちらにお声かけをしてお願いしていくというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（松田貴志君） 美馬議員。

○7番（美馬友子君） 想定どおり来ていただけたら安心するかなと思うのと、別に

この予算に関係ないんですけど、前だったら集団接種で徳島県下で大きな会場でされたと思うんですけど、そんな予定とかは誰に聞いたら、これは関係ないんで答えれんかったらええんやけど、あるんだったらドクターも医師会も大変だろうなって思うたんで聞いてみました。答えれんかったらいいです。

○議長（松田貴志君） 分かりますか。

佐藤政策監。

○政策監（佐藤健司君） 今の話は県がという話だと思うんですけども、すいません、私のほうにそのような話は入ってきていないです。

以上です。

○議長（松田貴志君） ほかにありませんか。

福井議員。

○2番（福井裕美君） お尋ねします。

集団接種は3日って設定されていますけれども、これを仮に2日とすると約24万円節約できます。どうでしょうか、節約。微差が大差を生みます。いかがでしょうか。

○議長（松田貴志君） 笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 最初にも説明しましたけれども、当然事業主体でありますので、採算ベースで考えております。接種者、集団接種の申込み状況によりましてパート職員の採用枠の変更や時間外勤務人員の削減等で調整したいと考えております。その中には、ただ恐らく福祉課の募集の段階で3日間の募集になろうかと思います。ですから、1日減すという状態じゃなしに、例えば昨年のコロナワクチン接種でしたら、2つのレーンを用意しまして、2つのレーンで接種を行った。1日300人から400人弱までの接種を行っております。ここが200人になるということになりますと、レーンを1つ落として医師が1人で対応する、看護師さんの人数も減して対応するというようなところは、常勤職員の時間外というところで削減可能かなと考えております。そこは当然、病院としましても事業でやりますので、実際に接種する人数を考えながら人員を配置していくうかなどいうふうには考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。

○2番（福井裕美君） なるほど。結構おいでるんですね、300から400人。これは土

日にされてるんですか、集団接種。

○議長（松田貴志君） 笠木勝浦病院事務局長。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） はい。昨年の実績でいきますと、例えばインフルエンザですと1日400人近くのワクチン接種を集団接種で行っております。もともとの町のもくろみが1,200人程度ということですので、400人掛ける3で1,200人ですので、うちのもくろみでは1,100人ですけれども、1,100人が来たと仮定しましたら3日は必要なのかなというふうに考えております。ただ、分からないです、はっきり言って。500人の可能性もありますので、それはそちらで持ち出しが起こらないような人員配置はしたいなと考えております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 週末も含めての日程の設定、何か今言いよったんで、週末の話をお願いします。

○勝浦病院事務局長（笠木義弘君） 日程の設定ですけれども、現在10月の土曜日3日間を想定しております。多くの方が接種に集まりますと、平日の診療と一緒にいうふうになりますと非常に混雑しますので、集団で土曜日を想定しております。

以上です。

○議長（松田貴志君） 福井議員。いける。

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） それでは、質疑なしとさせていただきます。

以上で詳細質疑は終了しました。

お諮りいたします。

議案第1号及び議案第3号を第二読会に付すことにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（松田貴志君） 異議なしと認めます。本件は第二読会に付すことに決定いたします。

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

会議は、23日午前9時30分から再開いたします。

これにて散会いたします。

午前11時28分 散会

以上会議の顛末を記し相違ないことを証するためにここに署名する。

勝浦町議会議長

勝浦町議会議員

勝浦町議会議員